

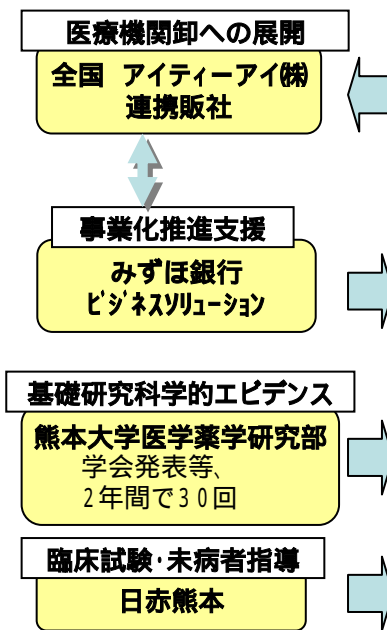
地域	熊本県上益城郡	認定日	平成20年3月31日	8 - 19 - 038
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	健康・福祉	

事業名: 特定な波形を持つ微弱電流と加温による「熱ショック蛋白質」発現装置の事業化

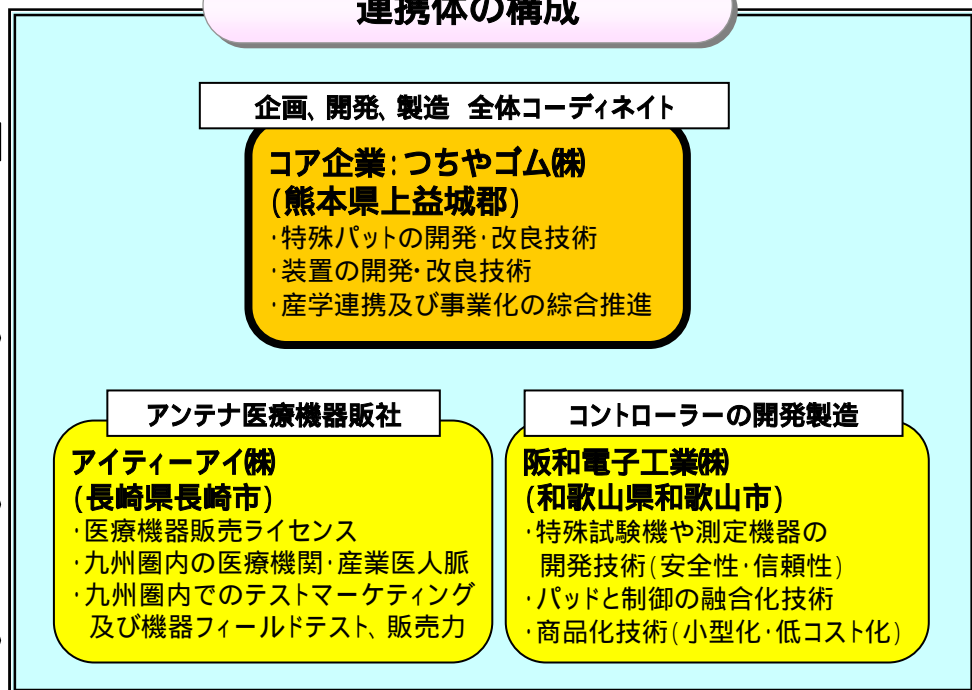
事業概要(新規性、市場性等)

- ・本事業は、熊本大学医学薬学研究部との共同研究で開発した「熱ショック蛋白質」発現装置の事業化である。本装置は「加温と特定な波形を持つ低周波直流パルス電流の同時印加」を、コア企業開発の電磁波シールドゴム使用で可能とし、その作用は熊大の科学的データに裏づけされている。「熱ショック蛋白質と糖尿病症状の改善に関する論文」が米国で発表され、「熱ショック蛋白質」の有用性が注目されている。本事業では産業医向けに機器販売を行っていくが、将来的には「糖尿病・メタボリック症状の改善機器」として医療機器承認を取得し、一般消費者への販売も想定する。
- ・メタボリック症候群の有病者1300万人 / 予備軍1400万人と増大傾向であり、我が国の社会保障制度を揺るがす事態である。2008年4月より「特定健康診査・特定保健指導」が導入されるのは、このような社会的背景によるもので、数千億円という市場が誕生するという報告がなされている。

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

補助金
低利融資(中小公庫)

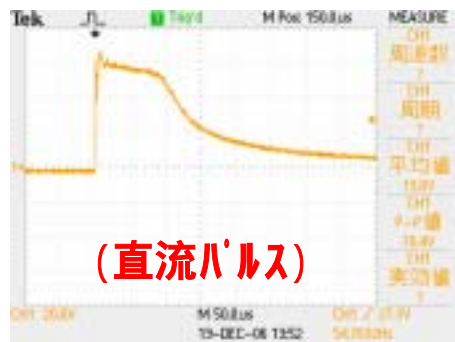


本開発装置

パットをサポーターに挿入



腹囲装着



連携のきっかけ、特徴

・「熱ショック蛋白質」を効率的に発現する原理は、熊本大学医学薬学研究部との共同研究によって科学的根拠に裏づけされており、現段階では類似商品（「熱ショック蛋白質」発現装置）は存在しない。しかしながら、つちやゴム㈱は、ゴム関連商品の開発・製造・販売を得意としてはいるものの、医療機器およびその市場に対しては経験が十分ではない。

特に 医療機器としての安全性と正確性を重視した回路設計、開発 及び 医療現場への訴求力、販売力、知名度等においては補間できる企業との連携が必要であると判断し、事業化に向けた連携の構築を行った。

阪和電子工業㈱：半導体関連の特殊検査装置（静電破壊自動測定装置など）を、世界に向けて開発・販売している。電子機器の高い開発・設計技術力を有しており、安全性や信頼性の高い機器の開発、商品化に繋げる。（当社の半導体特殊計測機器は、日本でのトップシェアを誇る）

アイティーアイ㈱：機器の販売促進に際し、医療分野に高いシェアを持ち、高品質のサポート管理を得意とする企業であり、精度の高いマーケティングや機器のフィールドテストを行い、拡販が可能となる。当社は、予防医療機器に力点を置き始めており、専任部署も設置する予定である。また関連会社のアイティシー㈱では輸入機器も販売しており、新規導入経験も持っている。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	つちやゴム株式会社 代表取締役 倉田 雄平	
所在地	熊本県上益城郡嘉島町井寺431番地21	
創業	昭和24年8月	
資本金・従業員数	3,000万円	82名
業種	製造業	
T E L	096-237-0138	
F A X	096-237-0129	
ホームページ	http://www.tsuchiya-r.co.jp	
e - m a i l	info001@tsuchiya-r.co.jp	

PR等その他の情報

・熊本大学と共同開発した「本開発装置」は、熊本大学の甲斐教授が持つ「マイクロアンペアレベルの微弱電流と温熱を同時に印加する技術」によって、熱ショックタンパク質を効率よく発現させる。

（学会発表など2年間で30回実施）

・今回新連携を組むことで、開発・製造から販売までの強固なネットワークづくりができ、事業化推進ができると期待している。